

勢和中学校第二学年



私たちは6人で活動しています。
全員保育園、小学校が同じで幼馴染です。

勢和中学校ってどんな学校？

勢和中学校の全校生徒の人数は約120人で少ないですが、みんなとても明るくて元気で賑やかな学校です。



ええやん学校

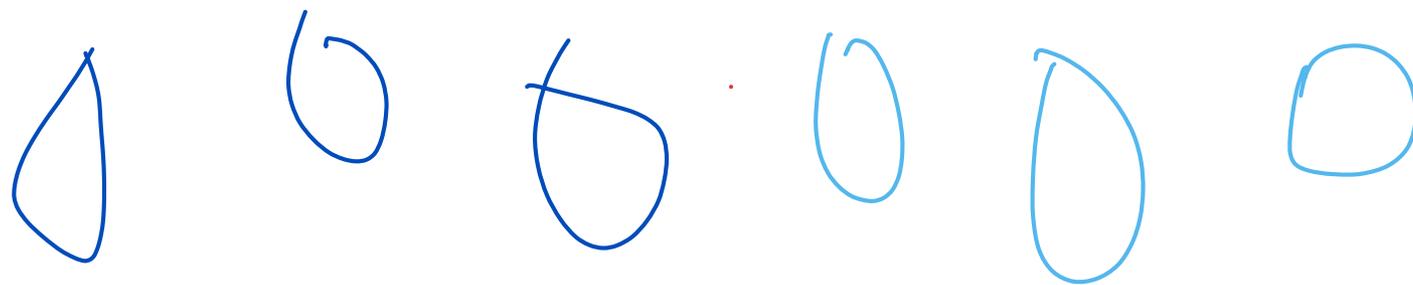


三重県（勢和）の気候の特徴

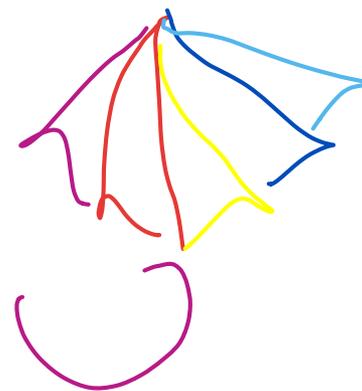


三重県の気候は、南北に長く広い平野であることから地域差もありますが、年平均気温は全般に15℃前後、勢和地区の年平均降水量は1,800～2,000mmで一般に温かな気候です。





三重県の気候は雨が多く降ります。だから、水やりの回数を少なくして済む小麦栽培はしやすいと思いました。





仮説

基肥に肥料を2グラム増やして、起生期の肥料を3倍にすることで葉の枚数を増やし体を作り最終的に豊作にする狙い。

目標

プランター栽培で品質の良い小麦を
たくさん収穫すること

気づいたこと



2023年 11月14日

- 研究区の方が基準区よりほとんど発芽数が多く、背丈が高い

2024年 1月6日

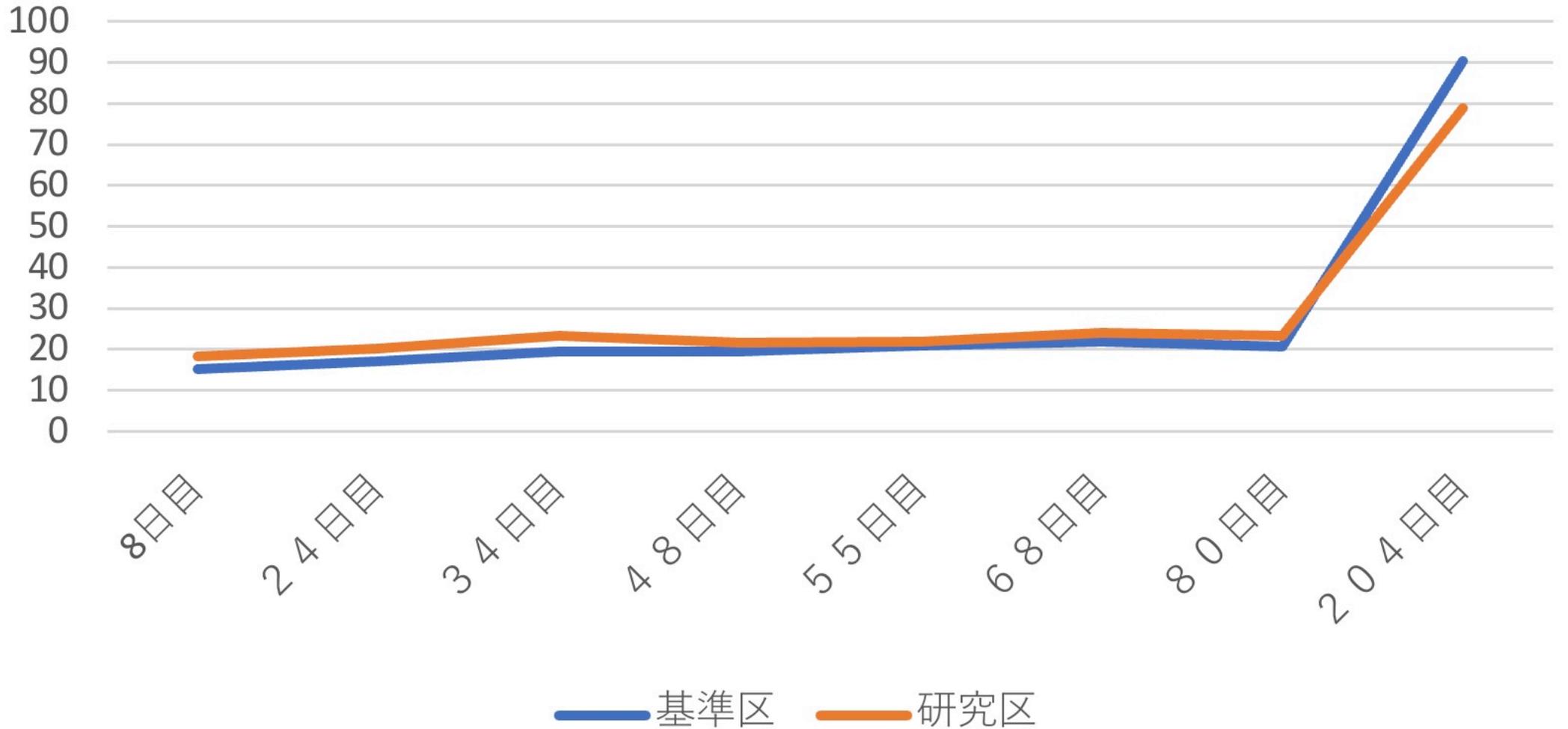
- 研究区の方が基準区よりも背丈が高い

2024年 4月17日

- 花が咲いていた
- 研究区より基準区の方が背丈が高くなってきた



播種後の草丈 (cm)



分けっ数

6
5
4
3
2
1
0

8 日目

24 日目

35 日目

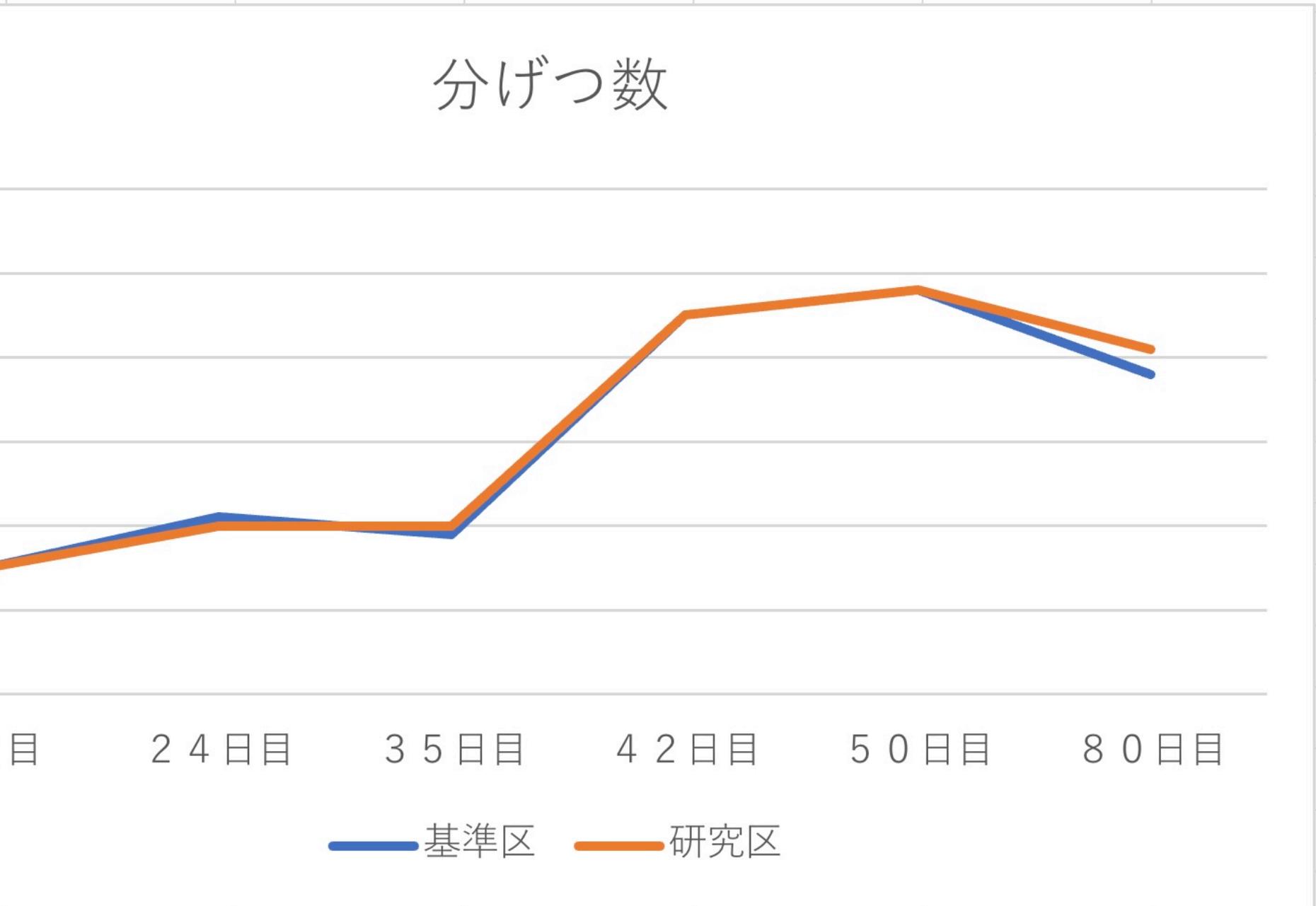
42 日目

50 日目

80 日目

— 基準区

— 研究区



収穫量 (g)

(1プランターあたり)

研究区

基準区

0

5

10

15

20

25



タンパク質含量

基準区

22.4%

研究区

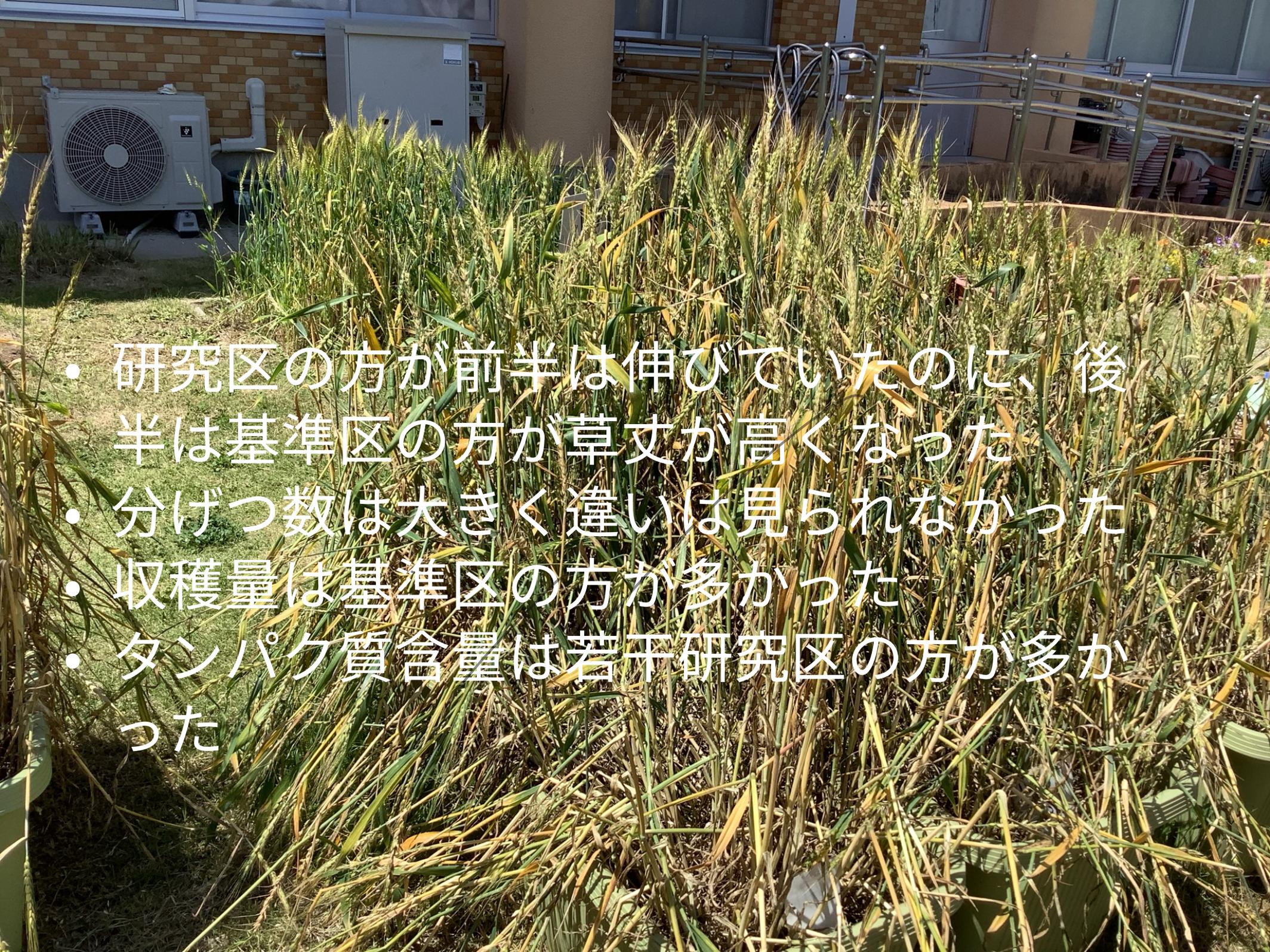
23.0%

Pascoさん

14.1%

これらのことから
わかったこと



- 
- 研究区の方が前半は伸びていたのに、後半は基準区の方が草丈が高くなった
 - 分けつ数は大きく違いは見られなかった
 - 収穫量は基準区の方が多かった
 - タンパク質含量は若干研究区の方が多かった

基準区の方が1プランターあたりの収穫量が多かったことから、仮説は間違っていたと考えられる。

しかし、タンパク質含量が若干ではあるが、研究区の方が多かった。

⇒つまり、より質の良い小麦が研究区の方が収穫できた！！

ここからは再度タンパク質含量に
注目していきたい



タンパク質含量

基準区

22.4%

研究区

23.0%

Pascoさん

14.1%



Q,パスコ（名古屋）と勢和の基準
区で同じ施肥量にも関わらず、タン
パク含量に差が出た要因は？

私たちのA,
降水量の違い!!



勢和地区の年間平均降水量が
1800～2000mm。名古屋は
1600mm前後。



一般的に小麦は雨が少なくても育つとされるが、プランター栽培においては、降水量の多い三重県（勢和地区）の方がパスコさんのプランター（名古屋）よりもタンパク質含量の多い小麦栽培に適している。



タンパク含量が多い



よりもちもち感のある
パンになる



勢和の研究区の小麦は
タンパク含量が1番多い



よりもちもち感のある
パンになる



勢和の研究区の小麦で
作るパンを食べてみたい！！

→ 私たちの仮説は間違
っていたいなかった！！

今回の経験をどう生かしていきたいか

- 休耕田を使って小麦を作りたい

勢和農村RMOと連携して、3つのチームが活動しています



害獣、害虫対策チーム

竹の柵作り、勢和地域マップ(動物の出没情報を投稿できるアプリを使っている)

⇒ 害獣害虫に負けない小麦栽培

地域情報発信交流チーム

各チームの記事を書くために取材
(記事は勢和中学校の公式インスタグラムに投稿される)

→休耕田での小麦栽培成功に向けて
地域の方と協働している



土壌改良チーム

落ち葉にEM菌を入れて腐葉土を作っている

休耕田で質の良い小麦をたくさん収穫させてみせます！！

皆さんご清聴ありがとうございました。

ええやん学校